

讀賣新聞

2005年(平成17年) 10月25日 火曜日

発行所
読売新聞大阪本社
第18954号

〒530-8551
大阪市北区野崎町5-9
電話 (06)6361-1111(代)
<http://www.yomiuri.co.jp/>

木炭で除湿 アトピー退治へ

ダニやカビなどをアレルゲンとするアトピー性皮膚炎の症状を、木炭で住宅の湿気を減らすことで軽減できるかなどを比較研究する取り組みを、島根大医学部の森田栄伸教授ら皮膚科研究室(出雲市)などが始め。同教室は2年間にわたって協力する患者10人を募集している。

2年かけ実験 患者を募集

同研究室と、住家の湿気
を取る調湿木炭を開発した
出雲土建(同市)の共同研
究。2003~04年に、県
内の患者6人の住宅床下や
天井などに調湿木炭を■い

たところ、5人の症状の改
善がみられたという。

今回は、患者10人のうち
人には木炭ではなく、ダミ

ーのプラスチックチップが
入った袋を敷き、2年後の
症状改善の具合を比較して
調べる。患者には、心理的
な影響が出ないようにする
ため、袋の中身は知らせな
い。ダミーを敷かれた患者
には実験開始から1年後に
木炭入り袋を敷き直す。
募集は10歳以上の患者。
条件は、カビやダニがアレ

ルゲンのアトピー性皮膚炎
で、天井または床下に木炭
を敷くため一戸建て住宅が
改造できる住宅に住んでい
る人。アレルゲンが不明の
場合は検査する。
住宅への木炭敷設のほ
か、同大付属病院で月に1
度の診察と3か月に1度の
血液検査、3か月に2度の
住宅のダニやカビ採取など
に協力する。木炭の敷設工
事は無料。検査時には交通
費の一部を支給する。

森田教授は「皮といふ身
に近い素材がアトピー症状
改善に有効と示すことがで
きれば、患者に有効。ぜひ
協力を」と呼びかけている
問い合わせは同室(080
5330-2021)へ。